英語科目名 Apprec 学科・学年 コンサート・イベント科 1年次	ステージ鑑賞 1						年度	2025		
	英語科目名	Appreciati	Appreciation of live music 1					学期	通年	
	学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
	担当教員	山本璃空	教員の領	実務経験	有	実務経り	角の職種	プロデュ [・] クリエイ	ーサー、メ ター	ディア

【科目の目的】

アーティストのライブステージを見ることにより、様々なジャンルの音楽に触れ、スタッフワーク(照明、舞台、制作、PA)の技術やスキルを現場で体験し知見を得ながら、アーティストのパフォーマンスを体験する。

【科目の概要】

アーティストのステージを研究し、周辺を含めたプロの技術を学びます。

【到達目標】

- A. 積極的にライブステージ鑑賞に参加する。
- B. 1種類のジャンルの音楽を体験するとともにアーティストのパフォーマンスを現場で体験し知見を得る。 C. 1種類のジャンルの音楽を体験するとともにスタッフワーク(照明、舞台、制作、PA)の技術やスキルを現場で体験し知見を得

【授業の注意点】

積極的に参加してアーティストのパフォーマンスやスタッフワークを鑑賞する事。ライブステージ鑑賞を通じてプロの仕事の現場を理 解する為に私語や態度などには厳しく対応する。また、理由のない遅刻や欠席は認めない。ライブ終了後は、感想をまとめて各自今後 の自分の実習に生かせるようにする。

		評価基準=ノ	レーブリック	
ルーブリック	レベル3		レベル2	レベル 1
評価	優れている		ふつう	要努力
到達目標 A	積極的にライブステージ鑑 賞に参加する		ライブステージ鑑賞に参加 する	到達目標Aについてさらな る努力が必要
到達目標 B	1種類のジャンルの音楽を 体験するとともにアーティ ストのパフォーマンスを現 場で体験し知見を得る		1種類のジャンルの音楽を 体験し説明することができ る	到達目標Bについてさらな る努力が必要
到達目標 C	1種類のジャンルの音楽を体験するとともにスタッフワーク(照明、舞台、制作、PA)の技術やスキルを現場で体験し知見を得る		スタッフワーク (照明、舞 台、制作、PA) の役割に ついて説明できる	到達目標Cについてさらな る努力が必要

【教科書】

特になし

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名 英語表記		ライブステージ鑑賞 1 Appreciation of live music 1					2025	
							鱼鱼	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法		
	第一課題		1 鑑賞力とは	1 鑑賞力とは ステージ鑑賞の意義がわかる				
1	課題発表	課題の趣旨を理解	2 課題発表	第一課題の意義がわかる		3		
	概要説明		3 課題理解	課題の内容を理解できる				
	第一課題		1 現場体験			1		
2	実践	ステージ研究	2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う	j			
			1 現場体験	現場での課題活用事例を知る			1	
3	実践	ステージ研究	2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う				
			1 現場体験	現場での課題活用事例を知る			1	
4	実践	ステージ研究	2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う				
			1 現場体験	現場での課題活用事例を知る				
5	実践	ステージ研究	2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う				
			1 現場体験	現場での課題活用事例を知る				
6	実践	ステージ研究	2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う				
	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る				
7			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる				
			3 課題発表	第一課題をまとめ、発表する		1		
	第二課題		1 第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる				
8	課題発表	課題の趣旨を理解	2 課題発表	第二課題の意義がわかる		3		
	概要説明		3 課題理解	課題の内容を理解できる				
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1 現場体験	現場での課題活用事例を知る				
9	実践	ステージ研究	2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う				
			1 現場体験	現場での課題活用事例を知る				
10	実践	ステージ研究	2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3		
		,,,,,	3 課題練習	構造化した課題について練習を行う				
			1 現場体験	現場での課題活用事例を知る				
11	実践	ステージ研究	2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		3		
		2 9124	3 課題練習	構造化した課題について練習を行う				
	2 実践	ステージ研究	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る			\exists	
12			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する				
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		$\frac{3}{2}$		
	実践	ステージ研究	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る		+		
13			2 課題の構造化 課題を分解し、構造化する					
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う				
			1 現場体験	現場での課題活用事例を知る			1	
14	まとめ	応用方法を学ぶ	2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		3		
_ •	5. 0.17	27/1979 PM C 1 W-	3課題発表	第二課題をまとめ、発表する		Ĭ		
			1 第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる			+	
15	総合復習	復習の実践	2 第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		3		
10	70 11 12 11	N I V A M	2 717—WT/ACY / JAC /	NA — MUVO C H M 42 O 42 I C C .0		ı ~	1	

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等